

第66号

発行日
令和4年6月27日

木協だより

発行所 一般社団法人埼玉県木材協会
発行責任者 島崎 政敏
編集責任者 佐野 且哉
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂2-7-7
TEL 048-822-2568
FAX 048-824-0720

一般社団法人埼玉県木材協会 第61回通常総会開催

5月27日(金)、一般社団法人埼玉県木材協会第61回通常総会を埼玉会館(さいたま市浦和区高砂)において開催しました。会員の出席は、委任状を含め97名。コロナ禍ではありましたが、多くの来賓の皆様にお越しいただき、盛大に開催することができました。

通常総会は、嶋村副会長の開会の辞により開会され、嶋村会長のあいさつ(別記)、業界模範優良表彰である埼玉県知事感謝状、埼玉県農林部長感謝状、埼玉県木材協会会長の授与が行われました。受賞者は次のとおりです。

「埼玉県知事感謝状」
初雁木材有限会社
関根 進氏

「埼玉県農林部長感謝状」
株式会社「マザキ」
島崎 次弘氏



「埼玉県木材協会会長賞」
嶋村木材株式会社
角 則夫氏
嶋村木材株式会社
澤田 幸子氏
有限会社榎本寛之助商店
榎本 浩氏



受賞された皆様、誠にありがとうございます。
議事については、まず、第

1号議案「令和3年度事業報告の承認について」及び第2号議案「令和3年度決算の承認について」が上程され、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、「木のふれあいまつり」「埼玉県児童・生徒木工工作「コンクール」が2年連続中止となるなど事業計画の見直しを迫られたこと、林野庁予算による「JAS構造材利用拡大事業」「外構部の木質化支援事業」、埼玉県予算による「彩の木補助事業」に取り組んだこと等の説明が事務局からありました。小池監事から、決算内容は適正であるとの監査報告が行われた後、原案と承認されました。

次に、第3号議案「令和4年度会費賦課金及び徴収時期

の決定について」、第4号議案「令和4年度借入金最高限度額の決定について」、第5号議案「常勤役員報酬の削減」を一括上程し、原案どおり承認されました。第6号議案「役員の一部改選について」を上程し諮ったところ、選挙委員が選出され、選挙委員から新役員案が提案されました。提案に基づき新役員が承認され、星野副会長の開会の辞により閉会しました。

総会閉会后に臨時理事会が開催され、次のとおり役員が決定されました。
※監事については任期途中
理事(会長) 島崎 政敏
理事(副会長) 星野 洋一郎
理事(副会長) 金子 真治
理事(副会長) 関根 進
理事(副会長) 大河原 章吉
理事(副会長) 嶋村 繁
理事(副会長) 木村 司
理事(事務理事) 佐野 且哉

埼玉県農林部森づくり課長



今年度から森づくり課長に就任しました永留伸児でございます。日頃から、埼玉県木材協会の皆様には、埼玉県農林部・林業行政にご理解とご

就任あいさつ

協力を賜り感謝申し上げます。昨年同様ウッドショックやウクライナ情勢などの影響が見通せない状況であり、皆様方のお力になれますよう努めてまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。
今年度は、令和3年10月に改正されたいわゆる「木材利用促進法」に即して、県指針を4月1日に改正し、題名も「埼玉県内の建築物等における木造化・木質化に関する指針」と改めたところでございます。

民間建築物に対しては、これまで積極的な働きかけは行ってきませんでしたが、この改正で、木材利用促進の対象を



公共施設のみでなく民間建築物にも拡大することとなったことから、今後は積極的に働きかけを行うこととし、今以上に県産木材の利用拡大を図ってまいります。
また今回の改正では、「県は、木材製造業者等に対して、二一対二に対応した品質の確かな県産木材の供給に努めるよう要請する」という趣旨の文言を加えさせていただきました。木材利用促進法及び県指針の改正をきっかけとして、需要者側、供給者側のそれぞれが協力し合い、相互に連携を図りながら、県産木材の利用拡大に努めていただきたいと思います。

なお、最大34万円を交付する住宅補助は、民間の店舗、事務所等も対象となつていきます。今後は民間事業者にも積極的に県産木材の利用を働きかけていきたいと思います。
さらに、令和元年度から配布が始まった森林環境譲与税の活用状況ですが、残念ながら

していくことが求められる、そんな時代になるのではないのでしょうか。
また一方で、この埼玉においても会員である材木店、製材所の減少は続いております。各地に木の性質や流通の仕組み、調達の方法がよくわかる元気な材木店が多く存在すること、そして山には量産型の大規模工場ばかりでなく、それぞれの地元材をうまく扱ってくれる製材所があつてこそ、適切な木材利用が進められるのではないかと私は思っております。
しかし、変化の激しいこの時代に材木屋として家業を存続させていくことは決して簡単なことでもありません。そのため、これから若い人たちが材木業として活躍を拓いていくための手助けになるような活動を是非とも行いたいと考えています。
皆様には今年度もご指導ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

木の良さPRから一歩進めた活動を

島崎会長総会あいさつ

皆さんこんにちは
3年ぶりでしょうか、久しぶりにゲストの皆様にもご来臨賜って、総会を開くことができました。皆様、ご出席くださりまして、有難うございます。

新型コロナウイルスの大流行は人類史に残る出



来事かと思っておりますので、お配りした事業報告の冒頭もそこら入りしました。おそらく皆様の身近にも大きな影響を被った方々がいらっしゃるかと思います。こんな話を聞きました。私の店は行田市にありまして、行田は昔から足袋や被服産業が盛んな町、近所にも祭り半纏や法被の縫製をしている知人もおります。先日会いましたら、この2年間祭りやイベントがほぼ皆無だったので、まったくと言っていいほど仕事がなかった。本当にどうしようかと思っていたけれど、ここにきてようやく少しずつ注文が入ってくるよ

うになったと聞いておりました。
私たちの木材業界は、そのようなこともなく、むしろ世界的な木材不足が生じ、ランパーパーティですとかウッドショックなどといわれる事態となつて、図らずも価格は高騰、集荷の苦労はあったものの、むしろ働き甲斐すら感じられる状況だつたわけで、改めて大変な事態だと思っております。

それでも売り手が競りを控えたりした時期もありましたし、会合の制限などは長く続きました。きょうの総会につきましても、先が開かれた全木連の総会に就いて、講演や懇親会は予定しませんでした。これが現状を見ながら少しずつウィズコロナに舵を切っていきたいと思

いますので、よろしくお願ひ申し上げます。
そんなコロナ禍のなかではありましたが、昨年は木促法の改正が行われ、国が木材の利用に一層力を入れていくことが明確になりました。オリンピックの施設に木材が多く使われたことも呼び水になつているのでしょうか？都市における木造公共建築も各地で見られるようになっております。また最近では、地域の供給力を超える大規模な案件まであるようです。
私たち埼玉県木材協会はこれまで多くの事業を行ってまいりましたが、このように世間の木材利用に対する意識も変わつていきますから、これからは一口に木材利用促進といつても、需要創出のための木の良さPR的な活動から一歩進めて、生産流通の実情を知る私たちのような団体には、より地域の実情に即した活動を模索



彩の木補助事業

交付申請受付開始

埼玉の木みんなで使って豊かな暮らし応援事業「彩の木補助事業」を、今年度も埼玉県からの補助を受け、当協会が実施しています。今年度の9月を目途にこの事業。皆様のご協力により、これまで多くの方々にご利用いただきました。今年度もさらなるPRをよろしくお願いいたします。

今年度は、「一般枠」「子育て世帯枠」「梁桁枠」「森林認証材・JAS材枠」の4区分で募集を行っています。予算額は、昨年度と同額の4千750万円。予定数は、4つの区分合わせて200件程度となっています。

昨年度はウッドショックによる影響を受け、予定していた200件に届かず、85件に対する補助で終了しました。今年度はさらにウクライナ情勢などの影響も懸念されており、ますます厳しい見通しです。皆様におかれましては、お取引のある工務店等への積極的な補助事業のPRを、是非お願いいたします。

今年度特にご協力いただきたいのは、店舗・事務所、病院・クリニック、保育所・幼稚園、高齢者施設、障がい者支援施設などの民間施設での

みんなで使おう
埼玉の木

最大34万円補助

048-822-2568

が50万円に上がります。新築・購入、増改築の補助対象・補助要件等詳細は、木材協会ホームページをご覧ください。また、申請手続きをご案内している「案内書」も用意しておりますので、ご入用でしたら木材協会までご連絡ください。

交付申請の受付は6月1日から既に開始しています。受付開始直後の申請件数が昨年度までと比較してかなり少なく、伸び悩んでいる状況です。今年度は予定数に達することができるよう、事務局といたしまして積極的に事業周知に努めてまいります。皆様のお力添えを重ねてお願い申し上げます。

森づくり活動実施しました

梅雨入り前の晴天に恵まれた6月4日(土)、毛呂山町葛貫地内の「埼玉県木材協会毛呂山町葛貫の森」において、森づくり活動を実施しました。当日は、会員55名と地元関係者の名にご参加いただき、ナツバキ8本、サツキ20本、アザレア10本を植栽し、また、イロハモミジ10本、ヒガンザクラ10本を補植しました。作業は1時間半ほどで終了し、参加者の皆様には、麻原酒造(毛呂山町)の日本酒等をお



よろしく お願いします!



5月27日の総会において、木材協会の専務理事に就任いたしました 佐野 且哉 でございます。一生懸命取り組んでまいりますので、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

連載

会員事業所訪問(4)

岩槻材木商組合

株式会社大忠

会員事業所を毎号ご紹介するコーナーです。連載4回目。今回ご紹介するのは、株式会社大忠です。

無垢材にこだわった家づくり

弊社は、さいたま市岩槻区(旧岩槻市)で昭和42年(1967年)に創業して今年で55年になる材木屋、株式会社大忠と申します。

弊社の特徴としては、とりわけ無垢材にこだわっているということが挙げられます。木の本来の良い部分をもっと大切にしたい、そしてそれらをもっと多くの方に知ってもらいたいという思いがあります。特に一般消費者の方は「木に興味があまり無い」のが現状ですので、弊社としてはもっと広く木に関心を持ってもらいたいという意図から住宅事業部を立ち上げ、ベニヤ等を極力使わないことと無垢材(国産材)にこだわった家づくりを推進しております。

「木に興味があまり無い」のが現状ですので、弊社としてはもっと広く木に関心を持ってもらいたいという意図から住宅事業部を立ち上げ、ベニヤ等を極力使わないことと無垢材(国産材)にこだわった家づくりを推進しております。

近年は国産材の需要が低迷し、一時期は木材自給率が20%を切る年もありました。近年では国の政策、業界団体や



木の博物館「木力館」(さいたま市岩槻区)



自治体等による各種取り組みの効果もあり、令和2年度は41.8%にまで回復しております。しかしまだまだ、道半ばと言ったところでしようか。世界に名だたる森林王国と言われる日本ですから、更なる国産材の需要増に期待したいところです。

現在は「ウッドショック」が起きて木材価格が高騰しておりますが、元々の材木の値段が現状の日本において、何が正常で異常なのかわからなくなつて混乱状況にあります。これも安い外材に依存し過ぎたから現在の様な状況があるのでは、とも思います。今後国産材価格が適切なものになれば、ひいては国産材を取り巻く環境がより良いもの

になればとも考えております。ありがとうございました。「木力館」、皆様も訪れてみてはいかがでしょうか。

お忙しい中対応いただき、

住宅省エネルギー技術講習テキスト

が書籍化されます

現在、(一社)木を活かす建築推進協議会のホームページでWEBテキストのみの公開となっている「住宅省エネルギー技術講習テキスト」基準・評価方法編(第2版)(令和3年3月)について、このたび書籍化されることになりました。WEBテキストをそのまま載せることも、その後の主な変更情報等も追加掲載いたします。限定1千部の販売で、オールカラー371ページ、価格は4千400円(税込送料別)です。

現在、望まれる脱炭素社会を目指し、省エネルギーに関しては刻々と変化している状況です。このテキストは住宅省エネルギーに関する基本的な考え方・評価方法を丁寧に解説した内容になっており、是非参考書として、お手元においていただきたい1冊です。WEB申込みは6月20日から、木を活かす建築推進協議会ホームページにて。

令和4年度一般準備費を使い、「国産材転換支援緊急対策事業」が実施されています。

国内において木材需要のひびが広がっている状況に加え、今般のウクライナ情勢の影響を受けた我が国の木材需給の更なるひび迫への影響を緩和するため、国産材製品の増産に伴う原木・製品の運搬や一時保管、国産材製品への転換を図る設計・施工方法の導入や普及を臨時的に支援するものです。

【原木・製品の運搬・一時保管緊急支援】ロシア等からの木材輸入減少により不足する建築用木材を緊急的に代替するため、建築物の設計・施工業者が国産材製品への転換を図る設計・施工方法の導入及び普及に要する経費を支援。詳しくは、(一社)全国木材組合連合会ホームページをご覧ください。

国産材転換支援緊急対策事業

令和4年度一般準備費を使い、「国産材転換支援緊急対策事業」が実施されています。

国内において木材需要のひびが広がっている状況に加え、今般のウクライナ情勢の影響を受けた我が国の木材需給の更なるひび迫への影響を緩和するため、国産材製品の増産に伴う原木・製品の運搬や一時保管、国産材製品への転換を図る設計・施工方法の導入や普及を臨時的に支援するものです。

【原木・製品の運搬・一時保管緊急支援】ロシア等からの木材輸入減少により不足する建築用木材を緊急的に代替するため、建築物の設計・施工業者が国産材製品への転換を図る設計・施工方法の導入及び普及に要する経費を支援。詳しくは、(一社)全国木材組合連合会ホームページをご覧ください。